

河原田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～河原田川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

○ 河原田川水系では、昭和33年、34年をはじめ、昭和60年などに水害が発生しており、気候変動の影響による今後の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備えるため、集水域から氾濫域にわたる流域の関係機関が一体となって「流域治水」による防災・減災対策に取り組む。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 護岸整備 等
- ・ 河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等
- ・ 管理河川の浚渫
- ・ 砂防関係施設の整備
- ・ ため池の整備による治水機能の強化
- ・ 森林整備

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 浸水リスク情報の充実（浸水想定区域図の作成）等
- ・ 立地適正化計画（防災指針）の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・ 洪水ハザードマップの周知
- ・ マイ・タイムラインの作成促進
- ・ 要配慮者利用施設等における避難計画の作成及び避難訓練実施の促進 等

鳳至川における河道掘削、樹木伐採（石川県）



(施工前)



(施工後)

石川県

- ・ 河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等
- ・ ため池の整備による治水機能の強化

- ・ 浸水リスク情報の充実

- ・ 水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・ マイ・タイムラインの作成促進

輪島市

- ・ 管理河川の浚渫

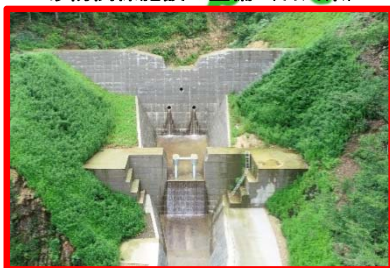
- ・ 立地適正化計画の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上

- ・ 洪水ハザードマップの周知
- ・ マイ・タイムラインの作成促進
- ・ 要配慮者利用施設等における避難計画作成及び訓練実施の促進

【位置図】



砂防関係施設の整備（石川県）



砂防関係施設の整備（県）

森林整備（県、森林整備センター）



河原田川における河川改修の実施（石川県）



避難確保計画の作成（輪島市）



水位計・河川監視カメラの活用・増設（石川県）



河原田川での設置事例

凡 例	
	浸水想定区域（想定最大）
	県境
	市町境
	水系

※ ○○川 は、県管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

河原田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～河原田川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

● 河原田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 河原田川において、護岸整備等を推進するとともに、流域河川において、河道掘削、樹木伐採、堤防強化等を実施する。また、水位周知河川以外の小規模河川について、洪水浸水想定区域図及び洪水ハザードマップを作成する。

【中長期】 短期に引き続き、河川対策、流域対策を推進し、流域全体の治水安全度を向上させる。また、洪水ハザードマップの周知やマイ・タイムラインの作成、要配慮者利用施設等における避難計画の作成・訓練実施の促進などにより、避難体制の強化を図るとともに、防災の観点を取り入れたまちづくりを推進するため、立地適正化計画(防災指針)の策定に努める。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	護岸整備 等	石川県	→	
	河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等	石川県	→	
	管理河川の浚渫	輪島市	→	
	砂防関係施設の整備	石川県	→	
	ため池の整備による治水機能強化	石川県	→	
	森林整備	石川県・森林整備センター	→	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスク情報の充実	石川県	→	県：小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成(R5出水期前)
	立地適正化計画(防災指針)の策定	輪島市	→	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・河川監視カメラの活用・増設	石川県	→	
	被害軽減対策の実施	石川県・輪島市	→	市町：小規模河川におけるハザードマップの作成

気候変動を踏まえた更なる対策を推進